

4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

OP1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [A地点] (9月22日)

ボーリング柱状図

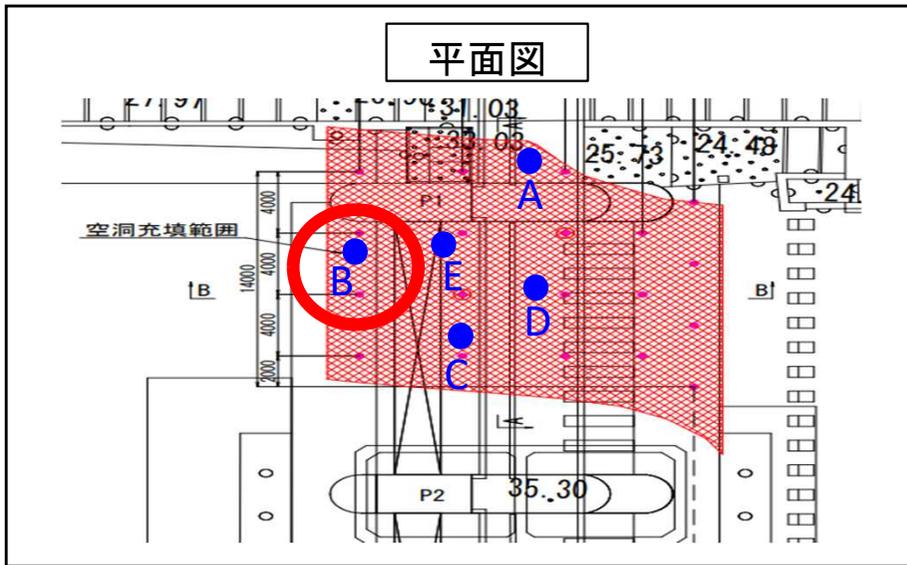
ボーリング名	No. A		調査位置	愛知県豊田市室町地先				北緯			
発注機関					調査期間	令和4年9月22日～4年9月22日			東経		
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高		角	180° 上	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤 勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用 機種	試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下
総掘進長	6.60m	度	下 0°						0°		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取			室内試験 ()	掘進 月日					
											深 度 m	10cm毎の 打撃回数			N 値 - ○ -						深 度 m			深 度 m	試料 番号	採取 方法		
												0 5 10	10 20 30	20 30 40	打撃回数 / 貫入量 cm	0			10	20							30	40
1					コンクリート																							
2																												
3																												
4																												
5																												
6		0.70	5.60			改良体				割れ目多く、亀裂沿いに風化・変質が認められる。 CL級相当。															9 22			
		1.00	6.60		片麻岩	灰																						

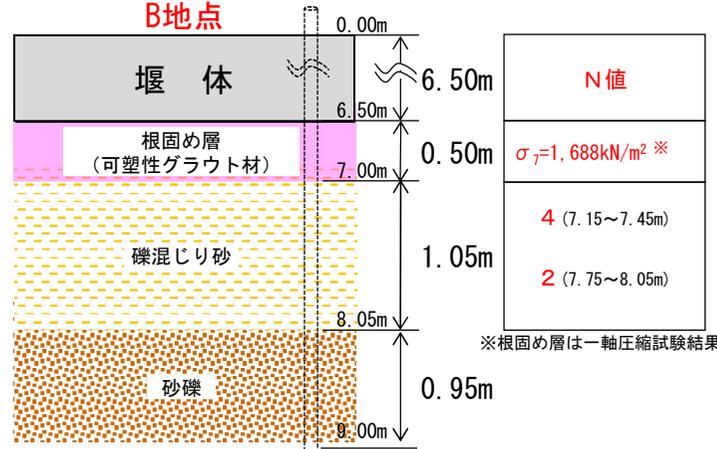
4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [B地点] (9月17日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、**B地点**のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に**0.5m厚の根固め層**、その下に**1.05m厚のN値2～4の礫混じり砂**、更にその下に**0.95m厚の砂礫（礫径3～10cm程度）**を確認。
- なお、堆積土砂のサンプリングを試みたが、試験可能な容量を採取することが出来なかった。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、 $\sigma_7=1,688\text{kN/m}^2$ の強度を確認。
(必要支持力：300kN/m²以上)



チェックボーリング状況図



礫混じり砂層において、試験可能な容量を採取できなかった。



根固め層の下に1.05m (深度7.00m~8.05m) 厚のN値2～4の礫混じり砂を確認。



礫混じり砂層の下に0.95m (深度8.05~9.00m) の砂礫を確認。礫径は3～10cm程度。

